

事業所向け 児童発達支援自己評価表

社会福祉法人白河学園

第一つぼみ園

公表日：令和6年2月29日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	<input type="radio"/>		
	2	職員の配置数は適切であるか	<input type="radio"/>		
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか		<input type="radio"/>	・2階スペースを使用しており、階段を上がらなければいけない。身体に障がいを持っている子どもも通園しているため、バリアフリー化されているとは言えない。 ・保育室内にスケジュールを掲示したり、保育室出入口付近に今日の活動や歌、利用児童や感染症情報を掲示し、情報伝達を行っている。また、低月齢の子に合わせたテーブルや椅子の購入、危険箇所の見直しをし、環境整備を行った。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	<input type="radio"/>		・子ども達の降園後は、毎日の清掃・消毒等を徹底し、衛生管理に努めている。 ・活動によって、同一敷地内のホールを使うなどして、子ども達が存分に楽しめるよう、環境に配慮している。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	<input type="radio"/>		・職員間で意見交換を行っている。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	<input type="radio"/>		・保護者向けアンケートを実施するとともに、日頃より保護者が意見・要望等を話しやすい雰囲気づくりを心掛けている。意見や要望があった際は職員で共有、検討し、業務の改善に努めている。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	<input type="radio"/>		・アンケート結果を踏まえ、職員で共有、検討、改善に努めている。また、結果はホームページで公開し、保護者にも配布している。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		<input type="radio"/>	・今後、本体施設で実施している福島県社会福祉協議会の第三者評価の実施を検討し、職員間で課題を共有していきたい。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	<input type="radio"/>		・新型コロナウイルス感染症が5類に移行されたことで、前年度より研修の機会が増え、必要な研修に参加できた。次年度は更に研修の情報収集から力を入れ、必要と思われる研修には積極的に参加し、職員の資質向上を目指していきたい。
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	<input type="radio"/>		・子どものニーズ、保護者の意見、訓練等の医療機関先からの助言等を踏まえ、その子にあった目標を設定し、児童発達支援計画書を作成している。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		<input type="radio"/>	・事業所内でアセスメントツールの使用は行っていない。医療機関で実施した発達検査結果等を保護者から提出してもらえるようにしている。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	<input type="radio"/>		・子どもの特性や家庭環境、就園・就学に向けての取り組みなどの検討を行い、合わせて支援の優先順位なども検討し、子どもの支援につなげている。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	<input type="radio"/>		・毎月の職員会議で目標に対してどうだったかの確認を行っている。また、日々の生活の中でも、職員同士が話し合い、確認し合うことにも努めている。

適切な支援の提供	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	<input type="radio"/>	・保育士が中心となり立案している。活動プログラムについて提案や意見交換できる環境に努めている。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	<input type="radio"/>	・月間スケジュールで活動を計画し、固定化しないように工夫している。また、外部の作業療法士に定期的に来園してもらい、定期的に活動プログラムについて助言をいただくとともに提案された活動を取り入れている。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	<input type="radio"/>	・個別と集団活動の中でできることをそれぞれ目標に設定している。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	<input type="radio"/>	・職員の出勤時間が異なるため、全員での打合せを行うのは難しいが、ケース記録担当職員が中心となり日々の役割分担を決め、声かけ、共有のボードでの掲示、そして必要な情報は共有ノートの活用をし、伝達を行っている。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	<input type="radio"/>	・職員の退勤時間も異なるので、全員での打合せを行うのは難しいが、全職員が記入、閲覧できる共有ノートを活用することで、支援の振り返りと気づき、得た情報などの共有を行っている。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	<input type="radio"/>	・毎日、個々のケースを記録し、職員会議や個別支援計画の作成時に活用している。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	<input type="radio"/>	・基本的には6ヵ月ごとに、子どもの成長や新たな課題について職員間で共有し、内容の見直しを行っている。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	<input type="radio"/>	・必要に応じて相談支援事業所と連携し、担当者会議には児童発達支援管理責任者が参画している。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	<input type="radio"/>	・必要に応じて、地域の保健師・障がい福祉の担当や相談支援事業所等の関係機関と連絡を取り、連携に努めている。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	<input type="radio"/>	・今年度は医療的ケアが必要な子どもの利用なし。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	<input type="radio"/>	・今年度は医療的ケアが必要な子どもの利用なし。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	<input type="radio"/>	・幼稚園等へ情報提供や担当者会議を行い、情報共有と相互理解を図っている。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	<input type="radio"/>	・就学希望の小学校等への見学に同行し、情報提供を行い、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	<input type="radio"/>	・必要に応じて児童発達支援センター等が主催した研修に参加している。また、自立支援協議会を通して他事業所の見学会に参加している。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	<input type="radio"/>	・園として全体での交流や活動する機会を設けた経緯はない。今後の検討事項と考えている。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	<input type="radio"/>	・「しらかわ地域自立支援協議会 教育・こども支援部会、事業所連絡会」に参加している。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	<input type="radio"/>	・連絡帳や送迎時を利用して、家庭での様子、事業所での様子を共有している。必要に応じて、面談の機会を設け、共通理解を深めている。

	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	○	・直接的な家族支援プログラムは行っていない。日々の送迎時や面談等で保護者の悩みに寄り添うよう努力し、助言等を行っている。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○	・「重要事項説明書」の中に記載し、契約時に説明し配布している。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○	・概ね左記の記載のような手順で実施している。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○	・連絡帳の記載事項への対応や送迎時には丁寧に対応を行い、助言や支援を行うよう努めている。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○	・保護者会は開催していない。今後、保護者会等の実施を検討していきたい。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○	・法人の「白河学園苦情解決制度実施要綱」により、苦情があった場合には、迅速かつ適切に対応を行っている。日頃も相談があった場合はすぐに対応し、また保護者アンケートを配布・提出・集計し、改善に努めている。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○	・毎月一回「第一つぼみ園おたより」として発行し、保護者に配布している。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○	・法人の「個人情報保護規程」を基に規約を行い、取り扱いについて確認を行っている。データや個人情報は鍵付きキャビネットに保管している。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○	・保護者や子どもとの信頼関係を築くことを優先に行い、個別に必要な視覚支援や配慮等を検討、周知し、実施している。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○	・今まで、事業所の行事に地域住民を招待したことはない。今後の検討事項と考える。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○	・各マニュアルは契約時に保護者に配布・説明を行っている。マニュアルの内容を再度職員間で検討していくことが課題として上げられる。訓練は避難訓練を中心に行っているが、様々な緊急時を想定した訓練内容にしていきたい。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○	・地震や火災を想定した避難訓練は実施しているが、救出や防犯等様々な訓練も今後実施を検討していきたい。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○	・相談支援事業所等と連携して、事前の情報収集ができています。また、契約時には保護者との確認も行っている。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○	・保護者を介して、医師の指示書をいただくようにする。現在対象の子どもはいない。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○	・ヒヤリハット報告書を基に、職員会議にて原因や今後の対策の話し合いを行っている。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○	・虐待防止委員会を設置し、研修に出席、職員間で研修内容を確認しているが、知識の獲得の他に、職員のメンタルヘルス対策等の実施も今後の検討事項と考える。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○	・身体拘束に関しては、運営規程、重要事項説明書にも記載し、契約時等に保護者に説明もしている。今まで、身体拘束を必要と考えられる子どもの受け入れケースはないが、受け入れを行う場合は話し合い決定していきたい。